

式 辞

今年もまた、新しい季節がめぐって来ました。穏やかな陽気に、木々の若葉も一斉に芽吹き始め、春はまさに命の輝きを感じさせる季節です。

この光輝く日に、多数のご来賓と保護者の皆様のご臨席を賜り、平成三十年度入学式を挙行できますことは、新入生はもとより本校にとりましても、大きな喜びであり、心から厚くお礼を申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、義務教育を終え、晴れて今日から、三重総合高校久住校の一員となります。

本校は、「小さな学校の大きな希望」をスクールテーマとして、大船・黒岳の清掃登山を始めとする地域貢献活動や久住サンホールでの課題研究発表会、学園祭での野菜や加工品の販売など、地域に根ざした様々な教育活動に取り組んでいます。今年度、久住校開校七十周年の節目の年を迎える歴史と伝統の中、農業教育を通して、地域農業の優れた人材を輩出し、大分県農業の発展に貢献してきました。

本校の校章は、久住の山や森、清らかな水の流れがイメージされ、豊かな自然とともに、生徒達が生き生きと学校生活を送れるようにという願いが込められています。

また、「希望 誇り 克己」の校訓は、自己の将来に確かな目標を抱き、高い誇りと困難に打ち勝つ強い心を育み、社会の発展に貢献する、たくましい若者を育成するという本校教育活動の理念を表しています。

今、皆さんは、これからの学校生活に対する期待と不安が入り交じった心境だと思えますが、新たな仲間とともに新しい学校生活が始まります。

高校生活のスタートに当たり、皆さんに三つのことをお願いします。

その一つは、今日から始まる高校生活に、夢と目標をもって臨んでほしいということです。夢は、困難を克服し、自分の人生を切り開く原動力となります。目標は、自分を励まし、めざす指標となるものです。

一年生の時から、自分の将来について考え、この久住校での学びを通して、自分の夢と目標を実現させて下さい。

本校での三年間の高校生活が、夢に挑戦する若者が集い、同じ時間と思いを共有する者のみが、分かち合える充実した時間となることを願っています。

二つ目は、そのためのしっかりとした土台作りをしてほしいということです。農業の土台は土づくりです。学校生活の土台は、規則正しい生活を送ることです。食事や睡眠などの基本的な生活習慣を確立させ、毎日の生活の中で挨拶や時間を守ることを大切にして下さい。豊かな土が作物を成長させるように、毎日の規則正しい生活の積み重ねが皆さんを成長させてくれます。

三つ目は、人との出会いを大切にし、より良い人間関係を築くことです。

今ここにいる皆さんは、思いを同じくして、まさに今日出会い、これからの三年間、

本校でともに切磋琢磨していく仲間です。この新たな出会いを大切にし、学校生活でともに汗を流し、絆を深めて欲しいと思います。

本校の先生方は、皆さんを全力でサポートしていきます。日々の授業を通して学力と専門性を高め、学校行事や部活動を通して、相手を思いやる協調性や豊かな人間性を身につけて下さい。

昨年の校舎大規模改修で教室や体育館が一新されたことに加え、来年度に向けて、竹田市の全面的なご支援で生徒の寮が新設され、また、県の農業教育の中核となる研修施設の建設も始まります。

今後、久住校の教育環境が一層整備される中、夢と目標をもって、大いなる挑戦をし、本校での学びを通して、その夢を実現させてほしいと願っています。

終わりになりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。生徒の中には、初めての寮生活を通して学校生活を過ごす者も多くいます。多感な時期に親元を離れた生活を送るということで、ご心配な面もあろうかと思いますが、きめの細かい指導を行うとともに家庭との連絡を密にして、安心して学校生活を送れるように配慮してまいります。

保護者の皆様には、本校の教育にご理解をいただくとともに、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ご多用のところ、ご臨席を賜りました竹田市長 首藤勝次様、大分県議会議員 土井昌弘様を始め、ご来賓の皆様には重ねてお礼を申し上げ、今後とも益々のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

久住の雄大な自然に抱かれたこの学校で、新入生の皆さんの高校生活が、実り多いものとなることを祈念し、式辞といたします。

平成30年4月11日

大分県立三重総合高等学校

久住校 校長 中野弘幸